

公表日

2025年 2月 20日

事業所名

こぼんはうすさくら 流山教室

保護者等数(児童数) 21名 回収数 16件 (割合76%)

		チェック項目	評価				ご意見	ご意見を踏まえた対応
			はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	14	1	0	1	教室が広いので充分広いと感じます。	スペースは十分にあるので、今後も広さを生かして運動など積極的に行います。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	12	1	0	3	先生がたくさんいて安心です。人数自体に問題は無いが、見きれているのか不安を感じる。	余裕のある職員配置を行っております。今後も児童の安全に留意しながら、専門性のある支援を行ってまいります。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	13	1	0	2	部屋が分かれていて教室内も清潔に感じます。	活動に応じて部屋を変える、目線誘導しやすいように壁面制作を掲示するなど、児童が落ち着いて行動できる環境設定をしております。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	15	1	0	0	教室内きれいだと思います。	今後も清潔さを保ち、使いやすい教室を心がけていきます。
適切 な 支 援 の 提 供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	14	1	0	1	親よりも先生の方が子供の事を理解してくれてると感じる事があります。個別にプログラムを作っていた。いただいた。	今後も児童の特性理解に努め、専門性のある支援を行ってまいります。
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	14	0	0	2		公表プログラムに沿って、日々支援を行っています。どのような活動なのか、分かりやすいプログラムを心がけます。
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	16	0	0	0	LINEでやり取りができて相談しやすくなりました。小さな課題から大きな課題まで考えていただいていると思います。	今後も児童本人と保護者様のニーズを伺い、日々児童の成長を分析しながら、個別支援計画を作成します。
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	14	1	1	0		ガイドラインに基づき個別支援計画を作成し、分かりやすく説明してまいります。
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	14	1	0	1		日々の支援内容が分かりやすいようリトムの記載やご連絡を行います。
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	15	0	0	1	色々なプログラムがあり子どもも楽しそうです。	活動の性質上、継続して行うプログラムもあります。どのような活動も飽きずに楽しめるよう行っています。
11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	5	3	3	5		幼稚園や保育園と交流する機会は設けておりません。公園や外出プログラム等では適切に関われるよう支援しています。	
保 護 者 へ の 説 明 等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	15	0	0	1	活動内容や料金について詳しく説明してもらいました。	契約時にできる限り詳しく説明を心がけていますが、ご不明点を伺いながら、より分かりやすい説明を行います。
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	13	2	0	1		送迎時など、長時間の説明時間が取れないこともありますが、分かりやすく説明できるようにしていきます。
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	16	0	0	0	子育て勉強会に参加してアンガーマネジメントについて学びました。	子育て勉強会やペアトレを年に数回開催しています。今後も継続して行います。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	12	4	0	0	リトムに書いてくれています。リトムは簡易な内容のため、もう少し詳細を知りたい。ただ人員的にも難しいのかも。無理のない範囲でお願いしたい。	送迎時やリトム、LINE連絡、電話連絡などを通して、今後も保護者様と連絡を取ってまいります。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	14	2	0	0	何かあればすぐ相談できます。	面談は定期的に行っていますが、ご要望に応じていつでも面談や相談等の機会を設けております。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	15	1	0	0	幼稚園や発達検査の結果等を相談した時真摯に対応していただきました。	児童本人と、保護者様の気持ちに寄り添い、支援ができればと思っています。
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	14	0	1	1	懇談会等で他の保護者に会う機会がありクリスマス会も楽しかったです。	昨年、系列の教室も含めた父母の会を発足しました。懇談会も、保護者様の情報共有の場になれるよう、定期的に行っています。ご家族にご参加いただけるイベントも、複数回開催しています。
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	14	2	0	0	定期的な面談と何かあれば電話やLINEで相談できるので助かります。	送迎時やリトム、LINE連絡、電話連絡を通して、いつでも相談支援を行っています。昨年度から、身体の使い方のお悩みに対して、理学療法士が相談支援を行える環境を整えています。

保護者への説明等	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	16	0	0	0	LINEの活用がとても良い。LINEでメッセージをもらう時に職員の名前を伝えてくれると安心します。	いつでも情報伝達できるように、環境を整えています。ご連絡いただいた事項については、早急に対応しております。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	13	1	0	2	こぼん通信や保護者向けLINEで写真を見る事が出来て楽しいです。	年4回のお便り発行と、グループLINEやSNSにて活動の様子など掲載しておりますが、より周知に力を入れていきます。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	12	3	0	1		個人情報保護法の指針や守秘義務に則り、職員一同取り扱いには十分注意しております。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	10	2	0	4	緊急カードに災害時の避難場所や連絡先が一目でわかるので安心です。	様々なマニュアルを作成しています。感染症対策委員会からは、定期的に情報発信を行い、昨年度から感染症予防のためにお便りの配布も始めました。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	11	2	0	3	プログラムの中に避難訓練があります。	災害の発生に備え、地震・火災に対応する避難訓練を、定期的に行っています。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	12	2	0	2		緊急カードを作成し、緊急時の避難場所や連絡方法などを分かりやすく表示しています。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	9	2	0	5	事故や怪我が発生した事がいいため不明。	怪我等の事故が起こった際には、保護者様にご連絡をしております。今後も速やかな連絡を心がけます。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	16	0	0	0	先生に対する信頼感をもっているので良い居場所になっていると思います。	今後も安心感をもって通ってもらえるように、信頼関係を築けるように職員一同研鑽してまいります。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	16	0	0	0	時々軽く行き渋る時もありますが元気に行って楽しそうに帰ってきます。毎回楽しそうに通っている。	今後も楽しく通ってもらえるよう、個々のレベルや課題にあったプログラムを考え、工夫して行います。
	29	事業所の支援に満足していますか。	15	1	0	0		児童と保護者様に寄り添った支援を目指し、事業所の療育に満足いただけるよう職員の研鑽を行ってまいります。

公表日

2025年 2月 20日

事業所名

こぼんはうすくら 流山教室

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5	0	机を置く場所を工夫している 室内は広く、玄関も広い 適切な人員が利用している	広すぎて落ち着かない事があるので、机の配置や活動設定はより細かく行うべきである。
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	4	1	どのような人数に対しても、リーダーとサブが付き、児童がスムーズに活動に参加できるようにしている	職員が多すぎると感じる事がある。数は妥当だが、全体を見通す視点が必要と感じる。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	4	1	トイレ手洗い場所が教室の外にあるのが 難点だが、職員間で工夫して死角を作らないようにしている。	玄関前の階段がバリアフリーになっていないが、共有スペースのため難しい。継続して、指導員の声掛けや位置によって階段昇降時の危険回避に努める。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	5	0	日々、活動終了後に教室内の消毒 清掃活動を実施している。	掃除が甘い箇所は、改善が必要
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5	0	リラックスマームと称して 個別の部屋を設けている。	個別の部屋までの動線がうまく作れず、個別部屋を使用する際には、職員配置が課題。
業務改善	6 業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	5	0	定期的にミーティングを行って、業務改善に取り組んでいる。	教室の休みが少なく、児童が多いとミーティングには全員が参加できない。紙媒体での情報伝達も遅れがち。
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	0	保護者懇談会を設け、保護者の意見に対し回答し、対応している。	定期的に通常療育についても何う機会を設けても良いと感じる。
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	0	児発管が意見や悩みを聞いてくれる機会が多い。	ミーティングの時間は限られており、すべての意見を網羅することはできていない。
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	0	5	実施していない	今後の検討事項。
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内で研修を開催する機会が確保されているか。	5	0	社内で月に1回研修を実施している。 療育時間の隙間でオンライン研修などは積極的に参加している。	多機能型のため、午前も午後も児童がおり、職員が外部の研修に行く時間の設定が難しい。
適切な支援の提供	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5	0	職員全員の希望を入れて、対象児童を明確にして作成している。	児童の課題に対し、今後も適切なプログラムの提供ができるように職員間で連携していく。
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	5	0	アセスメントやカンファレンスは都度行い、児童の状況を確認している	今後も児発管・職員間の情報共有を行い、ニーズや課題点を共有する。
	13 児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5	0	作成時に職員も確認して、作成している。 個別支援計画は、職員が目を通し会議の のち決定している。	検討時の時間確保と時間短縮が課題。
	14 児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5	0	記録にまとめて全員が目を通せるようにしている。	計画に対してどのように活動計画をたて、療育を行っていくか、今後も職員間で連携を取る。
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5	0	利用者から提供されたアセスメントツールの結果も共有し児童理解に努めている	アセスメントツールも継続利用して、適応行動を判断する。
	16 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5	0	本人支援や家族支援・移行支援が漏れなく入っており、具体的に設定されている。	今後も児童の状況やご家庭の状況に合わせて、適切かつ具体的な支援を設定できるようにする。
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5	0	職員からの意見を募って、対象児童に即したプログラムを立案している。	今後も職員と児発管が連携し、適切なプログラムを作成していく。
	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5	0	継続的な活動もあるが、その他の活動は固定化しないようにしている。	今後も季節に合わせた活動を取り入れるなど、固定化しない工夫を加えていく。
	19 こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	5	0	集団活動の中で個別対応が必要な場合サブの職員が対応している。	個別支援は専門的支援の中で行えるように今後整えていく。
	20 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5	0	朝礼でその日の支援内容の確認を必ず行い、午後勤務の職員にも内容が伝わるようにしている。	事前に確認しているが、どの職員も対等に意見を交換できるようにする。
	21 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5	0	終礼時にサブの職員からも活動に対して意見を聞いている。	終礼の時間短縮も課題なので、効率よく情報共有ができるように今後も環境を整えていく。

関係機関や保護者との連携	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5	0	児童別に活動記録を残している。	児童の様子が分かりやすいように、記録の質をさらに上げていきたい。
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5	0	モニタリングは定期的に行い、必要に応じて時期より早く個別支援計画の見直しをしている。	今後も児童の状況に合わせて早めのモニタリング・支援計画の見直しを行う。
	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5	0	児発管と職員が帯同して参画している。	今後も関係機関連携を進めていく。
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5	0	特定の医療機関と連携している。市役所の関係機関と連携を図っている。	今後も、地域間連携の視点を持ち、地域全体で支援を行う環境を整えていく。
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	5	0	保育所に訪問した際に、適切な情報共有を行っている。	全ての幼稚園・保育園と連携が取れているわけではないので、今後も事業所側からの働きかけをしていきたい。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	3	2	保護者の要望があった際には情報共有している	保護者の要望に応じて行っている状況なので、年長児すべて行える環境を整えていきたい。
	28	(28～30は、センターのみ回答)				
	28	地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
保護者への説明等	31	(31は、事業所のみ回答)				
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	3	2	児童発達支援センターの専門員と定期的に連絡を取っている。連携は図っているが、スーパーバイズは受けていない。	連携の機会を増やしていきたい。
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	1	4	法人内の別教室の児童間での交流は実施している。	外部の児童と触れ合うことはあるが、積極的に活動の機会は作っていない。調整が難しいが検討していきたい。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	5	0	面談以外にも送迎時や、電話連絡で情報共有をしている。	連絡帳の書き方等、職員によって差異がある。統一は難しいが、できる限りとおの得ていきたい。
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	5	0	定期的にペアレントトレーニングや子育て勉強会を実施している。	参加人数が少ないので、行う時期や時間、日程なども保護者様のニーズに合わせて今後設定していきたい。
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5	0	契約時、また規定が変わった際に都度説明している。	変更時の即日対応には難しさがある。スピード感を重視していきたい。
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5	0	計画作成後、保護者と内容を確認し意思を尊重して作成変更している。	こどもの最善の利益を確保するために本人の日々の言動を加味した計画作成も必要と感じる。
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	5	0	面談時に説明している。送迎時には長時間の説明ができずに端的に説明することがある。	面談もオンラインなど駆使して、保護者様のニーズに沿いつつ丁寧な説明を行ってきたい。
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5	0	面談のみではなく送迎時に話を聞いたり電話やLINEにて相談対応している。	正しく行っているので特記事項無し。
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	5	0	他教室と合同で親子交流スポーツデイを実施し、交流を図った。	父母の会活動の支援の難しさ。発足はしたが、現在参加人数を増やす試みを行っている。
40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5	0	セラピスト個別相談を実施している。	出動職員によっては、即日対応ができないことがあるが、職員の育成に努めている。	
41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	5	0	定期的にブログを更新している。紙媒体でもお便りを発行している。	より見やすい形の情報発信に努める。	
42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5	0	情報物の取り扱いについては、必ずオリエンテーションを行い、職員の意識を高く持てるようにしている。	今後も留意していく。	
43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5	0	相手に合わせて電話かLINEで対応か工夫している。	今後も対応の工夫を続ける。	
44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	1	4	行事には保護者と家族しか呼んでいない。	今後規模を広げる検討が必要。	

非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5	0	各委員会を設置し、それぞれマニュアルを策定している。 訓練に保護者を呼んだことはない。	引き渡し訓練の実施を検討したい。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5	0	BCP委員会を設置している。 職員訓練、児童を含めた避難訓練も定期的に実施している。	職員のBCPの理解度を上げたい。
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	5	0	アセスメントシートに記載して、全体共有している。	引き続き共有していく。
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	0	5	現時点で、事業所に医療的ケアが必要な児童はいない	新規児童への対応は常に整えておく。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5	0	安全計画を作成し、適切な研修や訓練も行っている。	今後も安全管理の意識を高く持って療育に当たっていく。
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5	0	災害に応じた避難先と連絡先を明記したカードを保護者に配布している。	管理者や車両の変更に伴い、避難カードの見直しなど今後も適切に行う。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5	0	ヒヤリハット報告書を頻繁にあげて共有して意識を高めている。	今後もヒヤリハットを見逃さずに再発防止に努めていく。
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5	0	委員会を設置し、動画視聴や研修を実施している。	職員間で虐待防止への意識を強く持てるよう、今後も研修機会を持ちたい。
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	0	5	記載事項無し	現時点で身体拘束についての記載が必要な児童はいない。	